

『風景美術館』 日本平公園

第4回 静岡市日本平公園 基本計画改定専門委員会

令和7年（2025年）6月5日

所在地	静岡県静岡市清水区草薙・馬走・村松地内（国指定名勝日本平、日本平自然公園を含む）
計画面積	都市計画決定面積 88.5ha（2024年から基本計画改定予定のため情勢に応じた変更の可能性あり）
基本テーマ	「風景美術館＝日本平」
公園特徴	四方の眺望に優れ、特に清水越しに富士山を望む眺望点として古くから観光地として栄える
主な施設	日本平夢テラス（静岡県）、展望回廊、大芝生広場、徳富蘇峰が評した眺望点 日本平ロープウェイ（㈱静岡鉄道）、日本平ホテル（㈱日本平ホテル）
周辺施設	久能山東照宮（国宝）、三保松原（世界遺産構成資産）、清水港（世界で最も美しい湾クラブ加盟）、登呂遺跡（国特別史跡）
受賞歴等	観光地百選平原の部1位、日本夜景遺産

目次

I.第3回改定専門委員会等の主な指摘事項	1
II. アンケート結果のまとめ	4
III.基本計画の方向性の確認	7
IV.導入機能・施設の設定	11
V.基本計画案	13
1.主な体験活動メニュー導入案	
2.施設概要及び施設配置計画	
3.動線計画	
4.景観計画	
5.緑地保全に向けた取り組み方針	
VI.整備・運営の基本的考え方	35
1.公園での公民連携事業（施設整備・運営）のパターン例	
2.本公園における公民連携導入施設の抽出	
（参考-1）将来的なパークアクセスモビリティ	43
（参考-2）日本平公園周辺でのトピックス	45

I. 第3回改定専門委員会等の主な指摘事項

第3回日本平公園基本計画改定専門委員会のご意見のまとめ

【公園部局】

項 目	内 容	対 応
交通	日本平久能山スマートインターから、日本平山頂へ向かう道路環境が非常にわかりづらい。	最終で課題として記載
	公園へのアプローチに関しては、委員会としてまとめて、プロジェクトチームに提供するとか、アピールするとかを事務局が責任持ってやってもらいたい。	最終で課題として記載
	アプローチは、魅力的なものにしていかないと、200万人対応できないと思う。	最終で課題として記載
WEB アンケート	アンケートから、訪れる目的が景観や風景観賞だけでなくなっている。おのずと滞在時間は長くなるのではないかな。現状とこれからやることの目的と滞在時間等を精査して、明確に目的をはっきりさせた方がいいのではないかな。	資料「Ⅱ. アンケート結果のまとめ」
	アンケート結果のクロス集計が必要である。 ①市民とそれ以外での集計。 ②来訪経験別、初めての方と2回目から5回目くらい、ハードリピーターくらいの3つくらいに分けての集計。 ③交通手段別で自家用車とそれ以外で、満足度や行動、他にどこに立ち寄っているか。	資料「Ⅱ. アンケート結果のまとめ」
	Web アンケートではなく、対面式で1日で取るということもやっていただきたい。	今後、パブリックコメントを実施予定
	アンケート結果で「夜景」44.9%がわからないという回答（認知が低い）であり、非常にショックな数字である。日本平の夜景を全国に、国内外に発信するための何か大きなコンテンツをこの計画の中で考えられないかな。	最終で本基本計画に記載
	資料で風景の文化財的価値に加えてとあるが、本公園での風景の文化財的価値は、国指定名勝の日本平の価値と基本的に一致してくるところだと思う。	本年度、改定予定の保存活用計画と整合を図る。
	風景美術館について、日本平のコンセプトに合致しているかという、もう少しほかの考え方もあると思う。美術館というと、やっぱり建物、施設的なものを人々がイメージする。公園の真ん中にあるテラス自体が風景美術館的な本当のコンセプトで作ってもいいのかもしれない。	「風景美術館」については、既に様々な場所で使われており、一般に広く周知されていることから、キャッチコピーとしては、これを継続。サブテーマや基本方針等で、今回委員会意見を記載する。

重点検討項目 （目標指標）	200万人の目標設定を決めてしまうとすごく重荷になってしまう。現状、100万人ぐらいかなというところを倍増させるのは、大変である。	あくまで目標値として設定。民間事業者を誘致していくためには、一定の想定利用者数が必要。
	目標値は、「頭数ではなくて延べ人数を増やす。」とすればよいのではないかな。	
	市が定期的に行っている意識調査において、大切な場所とか日本平とかの愛着とか誇りみたいなのを聞いて目標値にする。	
危機管理対応	危機管理、非常時対策の記載が欲しい。例えば1週間とか避難できるような体制ができていないとか、帰宅困難者の受け入れるような場所が多分ホテルだけじゃ足りないと思う	陸上自衛隊の災害救助ヘリの離発着場所を確保、併せて立体駐車場（地階）、霊峰テラスを活用。
お茶畑	隣接する茶畑が営農をやめた場合のリスクはどう考えているか。	今回、公園整備エリアに追加。
駐車場整備	ゴールデンウィークや年末年始に山頂部分の交通は混雑する。公園外へ駐車場を出すことの検討が必要ではないかな。	3頁（森川委員ヒアリング）参照
	駐車場の立体化というのは本当に可能なのかな。	32頁～35頁（断面図）参照
	全体の断面図をもう少し描いてもらいたい。	
園内移動	モビリティを予定しているが。人が歩く線と車の線等を具体的に描いてもらいたい。	28ページ（動線計画図）参照
	食材、機材等の搬入ルートの検討もお願いしたい。	28ページ（動線計画図）参照
活動メニュー	活動メニューを1年間の1月から12月のタイムスケジュールや1日の滞在時間について、時間軸の中に当て込んで、検討してもらいたい。	資料「V-1. 主な体験活動メニュー導入案」参照
管理・運営	管理とか運営みたいな話をしてもらいたい。	資料「VI. 整備・運営の基本的考え方」参照

◆森川委員ヒアリング議事概要（令和 7 年 3 月 14 日）

質問①：自動運転化の一般的な発現は何年くらい先になる見込みか。

- ・レベル 4 のような人が運転しない、役に立つ自動運転は 10 年先くらい。
- ・パークアンドバスライド方式で中腹に駐車場をつくって山頂までピストン輸送する場合は、レベル 2（運転席に人が乗るが、何かボタンを押す程度）であれば数年で使い物になる。その際に 2 種免許を持たなくてよい方向になる。（多分、無料運行が考えられる。）

質問②：将来、自動運転以外に日本平公園へのアクセスに導入し得る新モビリティはあるか。

- ・ZIP（ZIP インフラストラクチャー）は、大がかりなロープウェイほど設備も要らない。
- ・次世代型エアモビリティはちょっと先だと思う。

質問③：また、そのためにはどのような基盤整備（受け入れ可能とする準備）が必要か。

- ・ZIP であれば、パークウェイの拡張が考えられる。

質問④：駐車場規模の設計（滞在時間、回転率、ピーク時の台数等から算出）は適切か。

- ・駐車場面積を減少させ他のユーティリティースペースへの転換を行うことは良い。
- ・景観を守るために、斜面の一部を切って、土工が入ると費用が高くなるが、目立たないように立体化するのはよい。（高低差等の確認は必要である。）

質問⑤：園内バス、電動カートの好事例（実施方法、採算性等）はあるか。

- ・特にこれはすごいな。見習った方がいいというのはちょっと知りません。

質問⑥：周辺整備（麓の駐車場、自動運転バス等）が整った場合のパークアンドバスライドの実現化

- ・パークアンドライドにおいてピストンで自動運転を使う場合は、可能なら中腹からの短いピストンで行う。行うのは、今の駐車場台数があふれる年間数日だと思う。（期間限定、自動運転の速度は 20 キロいかないくらい。）
- ・麓からのパークアンドバスライドよりは、自動車で来なくて快適に来られるように、静岡駅等からのバス等の便数を増やす方に重点を置いた方がいい。

質問⑦：自動運転化した園内バスの 2 種免許は不要か。

- ・公園敷地内であれば 2 種は要らない。
- ・敷地外（公道）であれば、無料にすればいい。

質問⑧：パークアンドバスライド実施時のバリアフリー交通の混入への対処

- ・車の流入規制する場合は、パークアンドバスライド用の多くの駐車場が必要になる。
- ・山頂の駐車場であふれた分をパークアンドバスライドにして、インセンティブ（料金に差等）をつけて、ピストン運送付きで行った方がいいと思う。

質問⑨：10 年、20 年、50 年先の郊外モビリティのイメージ

- ・20 年先には、空飛ぶ車はあり得ると思う。（例えば、富裕層向けに清水港から日本平へなど）
- ・10 年、20 年先は、今のような車での来園を想定した駐車場や道路が必要になる。

質問⑩：ZIP の輸送人員はどれくらいか

- ・4 人から 6 人だと思う。（ZIP はカーブ運行ができるが、パークウェイのようなつづら折りは考えていないと思う。）

質問⑪：市全体の交通政策の方向性について

- ・中心部①：ウォークアブルな空間として市中心部、静岡駅前の北側をウォークアブルな空間にする。
- ・中心部②：自動運転バスの導入を目指し、レベル 2 から技術の動向を見ながらレベル 4 化する。
- ・郊外部（中山間地域）：公共ライドシェアを進め、技術が熟したら自動運転化する。

質問⑫：レベル 2 の自動運転での必要な基盤整備

- ・基盤は必要ない。

質問⑬：自動運転での電磁誘導線方式について

- ・磁気ネイルとか電磁誘導線方式の方が安定していい。（それ以外の自動運転方式であれば、木の成長等で冬と夏では点群データ当が違ったりすることで問題が生じると思われる。）

Ⅱ. アンケート結果のまとめ

WEB 利用者アンケート調査結果〈クロス集計結果〉

1) 調査概要

(1) 調査時期

令和 6 年 8 月 16 日（金）～令和 7 年 1 月 31 日（金）

(2) 回答数

	回収数（票）
計	564

2) クロス集計項目

表 クロス集計一覧

主（設問）	被（設問）	集計名称	集計番号
Q2 目的	Q0（3）居住地	目的地別居住地	①
	Q1（1）来園頻度	目的地別来園頻度	②
	Q3 訪れた場所	目的別訪れた場所	③
	Q4 特に満足した場所	目的別特に満足した場所	④
Q5 滞在時間	Q3 訪れた場所	滞在時間別訪れた場所	⑤
	Q1（1）来園頻度	滞在時間別来園頻度	⑥
	Q2 目的	滞在時間別目的	⑦
	Q4 特に満足した場所	滞在時間別特に満足した場所	⑧
	Q8 改善した方が良いと思う点	滞在時間別改善した方が良いと思う点	⑨
Q0（3）居住地	Q1（1）来園頻度	居住地別来園頻度	⑩
	Q3 訪れた場所	居住地別訪れた場所	⑪
	Q8 改善した方が良いと思う点	居住地別改善した方が良いと思う点	⑫
Q1（1）来園頻度	Q3 訪れた場所	来園頻度別訪れた場所	⑬
	Q5 滞在時間	来園頻度別滞在時間	⑭
	Q8 改善した方が良いと思う点	来園頻度別改善した方が良いと思う点	⑮
Q1（3）交通手段	Q2 目的	交通手段別目的	⑯
	Q3 訪れた場所	交通手段別訪れた場所	⑰
	Q4 特に満足した場所	交通手段別特に満足した場所	⑱
	Q6 周辺で立ち寄った場所	交通手段別周辺で立ち寄った場所	⑲
	Q8 改善した方が良いと思う点	交通手段別改善した方が良いと思う点	⑳
	Q9 導入した方が良い山頂までの交通手段	交通手段別導入した方が良い山頂までの交通手段	㉑
	Q10 導入した方が良い園内の交通手段	交通手段別導入した方が良い園内の交通手段	㉒

3) 総評

クロス集計結果から得られた主なポイントを整理すると下記の通りである。

①『目的地別居住地』では、全体として、「各施設などの散策」、「風景鑑賞」の比率が高くなっているが、この市内内から遠ざかるに従い、その比率が高まる傾向がある。「写真撮影」も比率は低くなるが同様の傾向を示している。なお、居住地の「その他」においても、8割弱を占めており、これら要因が目的に影響を与えていることが分かる。

「ドライブ」は市内からの利用が比較的多く、「静岡市外」、「静岡県外」等と比べ、倍以上の割合になっていることが分かる。

②『目的地別来園頻度』は、「今回が初めて」の頻度では、「風景鑑賞」、「各施設などの散策」、「写真撮影」等を目的として来ている。

来園頻度が高くなるに従い、「風景鑑賞」、「各施設などの散策」、「写真撮影」を目的とする比率が低くなる傾向である。

また、「ドライブ」は、「週に1回以上」「月に1回以上」の間隔で当公園が利用されている。

③『目的別訪れた場所』は、「風景鑑賞」を目的に来園しているのは全体で 2 割強あり、その中で訪れた場所として「日本平夢テラス 展望回廊」が多く、次いで「久能山東照宮 ロープウェイ」、「日本平ホテル」等の意見が出ている。

④『目的別特に満足した場所』は、「風景鑑賞」での来園が全体の 2 割強を占めており、その中で特に満足した場所として、「日本平夢テラス 展望回廊」、「久能山東照宮 ロープウェイ」、「日本平梅園」、「日本平ホテル」等をあげる人が多くなっている。

⑤『滞在時間別訪れた場所』において来園者の多くは、30 分～3 時間程度の滞在時間で、「日本平夢テラス 展望回廊」や「久能山東照宮 ロープウェイ」を利用している。

⑥『滞在時間別来園頻度』は、来園者の多くが「1 時間～2 時間」での来園が全体の 3 割強を占めている。その中で「年に 1～2 回程度」が多くなっている。次いで、「数年に 1 回程度」、「2～3 カ月に 1 回程度」、「今回が初めて」の回答の順になっている。

また、全体的な傾向として、「今回が初めて」の来園者は 30 分から 2 時間程度の滞在が多く、「年に 1～2 回程度」来ているリピーターは、30 分から 3 時間程度の滞在が多いことが分かる。

さらに、「週に 1 回以上」の滞在時間は、各選択肢に分散しており、多様な利用がされていることがうかがえる。

⑦『滞在時間別目的』は、「1 時間～2 時間」、「30 分～1 時間」の滞在時間で来園し、「風景鑑賞」、「各施設などの散策」、「ハイキング」、「ジョキング」、「ドライブ」等を目的に来ている。特に「ハイキング」、「サイクリング」では、「30 分～1 時間」の比率が高くなっている。

また、「食事」、「買い物」では、「1 時間～2 時間」及び「2 時間～3 時間」の比率が高くなっている。

⑧『滞在時間別特に満足した場所』は、来園者の多くが「1 時間～2 時間」、「30 分～1 時間」が全体の 3 割以上を占めている。これらの多くが「日本平夢テラス 展望回廊」について満足している。

また、滞在時間が「1 時間～2 時間」、「2 時間～3 時間」のように滞在時間が長くなると「日本平ホテル」と「久能山東照宮 ロープウェイ」について満足を占めている。

⑨『滞在時間別改善したほうが良いと思う点』は、来園者の多くが「1 時間～2 時間」のおよそ半数が「駐車場の駐車台数を増やす」、「宿泊施設を増やす」、「展望施設を充実する」、「観光案内に関する情報をもっと積極的に発信する」等に対する要望が見られる。

また、他の集計からリピーターが多い 30 分から 3 時間程度の滞在について見ると、同様の項目はいずれも 9 割を超える回答が寄せられている。

⑩『居住地別来園頻度』は、来園頻度は全体を通してみると、「今回が初めて」以外の比率から「2～3 カ月に 1 回程度」、「年に 1～2 回程度」、「数年に 1 回程度」が高くなっているが、「週に 1 回以上」、「月に 1 回以上」のハードリピーターは、本市内、「静岡市外」を問わず高くなっているものの「静岡県外」及び「その他」ではほとんど見られない。

一方で、「その他」においては、「今回が初めて」が 8 割（38 票/48 票）を占めている。

⑪『居住地別訪れた場所』は、来園者の多くが市内から「日本平夢テラス 展望回廊」等を目的として来ており、全体の約 3 割を占めている。

「日本平夢テラス 展望回廊」は「静岡県外」、「その他」で高く、「久能山東照宮 ロープウェイ」は市内、「静岡県外」、「その他」、「静岡市外」の順で高くなっている。

訪れた場所の多くにおいて、「静岡市葵区」からの利用が多い傾向が顕著である。

「日本平ホテル」は市内及び「静岡市外」においても利用が高い。大切なお客さま対応や記念日等の「ハレの場」として、迎賓館的な機能として利用されていることが想定できる。

⑫『居住地別改善したほうが良いと思う点』は、「静岡市葵区」からの来園が全体の 2 割強を占めており、その中で改善したほうが良いと思う点として、「観光案内に関する情報をもっと積極的に発信する」、「雨天時にも映像などで景色を楽しむことができるようにする」、「イベントを増やす」、「駐車場の駐車台数を増やす」、「子供が遊べる施設を充実する」等をあげる人が多くなっている。

⑬『来園頻度別訪れた場所』は、来園者の多くが「年に 1～2 回程度」で来園している利用者の訪れた場所として「日本平夢テラス 展望回廊」、「飲食 売店等の施設」、「久能山東照宮 ロープウェイ」、「日本平ホテル」、「平原ゾーン（芝生広場）」を訪れている。

また、「数年に 1 回程度」や「今回が初めて」の来園者においても「日本平夢テラス 展望回廊」をあげている。

⑭『来園頻度別滞在時間』は、来園者の多くが「年に 1～2 回程度」の頻度で来園した際の滞在時間として「1 時間～2 時間」、「30 分～1 時間」、「2 時間～3 時間」をあげている人が全体の 3 割を超えている。

⑮『来園頻度別改善したほうが良いと思う点』は、来園者の多くが「年に 1～2 回程度」で来園している利用者が改善したほうが良いと思う点として「イベントを増やす」、「雨天時にも映像などで景色を楽しむことができるようにする」、「観光案内に関する情報をもっと積極的に発信する」、「子供が遊べる施設を充実する」、「駐車場の駐車台数を増やす」などまんべんなく意見が出ている。

⑯『交通手段別目的』は、来園者の多くが「自家用車」での来園であり、選択肢の「ジョキング」と「サイクリング」を除いた項目でほぼ過半数以上の回答を示している。

また、「自転車」での来園は、「サイクリング」が 5 割強を占めている。

さらに、「徒歩」での来園は、「ジョキング」が 4 割、「ハイキング」が 3 割弱の割合が多くなる傾向である。

⑰『交通手段別訪れたい場所』は、来園者の多くが「自家用車」で来園し、訪れたい場所として全ての選択肢で高い割合を示している。

また、「路線バス」で来園した際には、「久能山東照宮 ロープウェイ」、「日本平お茶会館」等を訪れたい場所として多くなっている。

⑱『交通手段別特に満足した場所』は、来園者の多くが「自家用車」で来園し、満足した場所として全てを選択肢で高い値を示している。特に「日本平夜市」、「日本平ホテル」、「日本平夢テラス 展望回廊」、「日本平お茶会館」が 7 割から 8 割以上である。

⑲『交通手段別周辺で立ち寄った場所』は、来園者の多くが「自家用車」で来園した際に周辺で立ち寄っている来園者は 7 割である。各選択肢ともに多く回答がされているが中でも「エスパルスドリームプラザ」、「日本平動物園」、「静岡浅間神社」は 7 割強になっている。

⑳『交通手段別改善したほうが良いと思う点』は、来園者の多くが「自家用車」で来園し、改善点として「観光案内に関する情報をもっと積極的に発信する」、「子供が遊べる施設を充実する」、「雨天時にも映像などで景色を楽しむことができるようにする」をあげている。

㉑『交通手段別改善したほうが良い山頂までの交通手段』は、来園者の多くが「自家用車」で来園し、改善したほうが良い山頂までの交通手段として「今のままで良い」、「観光地を周遊する巡回バス」、「主要駅からのシャトルバス」をあげている。

また、変わったところでは、「自家用車」で来園した方の一部は、「路線バスの増便」をあげており、一定の関心があることが分かる。

㉒『交通手段別改善したほうが良い園内の交通手段』は、来園者の多くが「自家用車」で来園し、改善したほうが良い園内の交通手段として「今のままで良い」、「園内周遊電動カート」、「園内周遊バス」、「レンタル自転車」をあげている

また、「自家用車」で顕著にみられるのが「レンタル電動キックボード」への希望を示している方も見られている。

Ⅲ.基本計画の方向性の確認

Ⅲ.基本計画の方向性の確認

1) 基本的な方向性

○基本構成

- ・風景に特化した高質の静的空間を形成。
- ・観光基本計画を踏まえた「体験コンテンツの充実」に向けた様々な動的アクティビティの導入。
- ・公園における自然環境の多様な機能を活かし、グリーンインフラとして、自然に接し、心身の安らぎや学び、遊び等の場として積極的に活用。

○サステナブル

- ・公園やグリーンインフラによって「自然資本」を回復させ、持続可能な社会を構築。
- ・エコツーリズム、サステナブルツーリズム等の観光需要の変化に対応する公園機能の向上。
- ・持続可能な公園経営を促進するため、公園利用における消費額の拡大、インバウンドの誘客促進等による運営管理を安定化。

○ウェルビーイング

- ・グリーンインフラ機能の向上や、心豊かな生活を支える居心地のよい交流・滞在空間の強化により、地域社会の魅力度や幸福度の向上、観光・集客の競争力の強化に貢献。
- ・全てのこどもの健やかな成長、安全で安心して過ごすことのできる多様な体験活動や外遊びの機会の提供。

○公園利用の活性化

- ・一年を通じて市民のレクリエーションや市民交流の場として地域活性化の中核を担う公園づくり
- ・観光需要の拡大に向け、静岡市の特産である美食・絶景・歴史をテーマとしたアクティビティによる質の高い感動体験ができる公園づくり。
- ・公園区域を最大限に活用するため、パークアンドライド等の新たな交通システムの導入、将来的なクルマ社会に応じた駐車場規模の検証、三保松原等の周辺観光地からの回遊性を進展させる新たな交通手段等の導入。
- ・集客力を高めるために、カジュアル層からエグゼクティブ層までの幅広い利用ニーズに対応する高付加価値な宿泊施設や飲食施設、貴重な体験施設やプログラム等を提供。

2) 基本テーマ・基本方針

①基本テーマ

<過年度の基本テーマ>

日本平が有する優れた景観を中心に据え、様々な取り組みによって「風景を楽しむ公園」、「絵になる風景が広がる公園」を目指し、その文化財的価値を広く周知し、将来に継承していく。

<公園を取り巻く社会情勢の変化と静岡市の取り組み>

- ・持続可能な都市を支えるグリーンインフラの受け皿
- ・ウェルビーイングを視点とした市民生活の質的向上
- ・しずおかの歴史や文化への誇りと愛着心の醸成への寄与
- ・国内外の活発な交流の場と機会の提供
- ・インバウンドをはじめとした観光需要の掘り起こしで、地域経済活性化へ寄与
- ・民間資本や市民参加による公園整備及び運営管理への積極的誘致

<基本テーマ>

「風景」の文化財的価値に加えて、市民生活の質的向上と、日本平が有する観光価値を視点とし、富士山や駿河湾、伊豆半島、南アルプス等の遠景の視対象や、静岡、清水の中景の夜景といった変わらぬ風景に対し、公園整備による

- 公園内のビューポイントや近景の構成要因の改善
- 歴史文化の解説と演出
- 様々なアクティビティの導入による非日常感の提供

を計画の骨子とし、日本を代表する絶景とともに、自然環境を最大限に活用した様々なアクティビティの導入や、歴史文化のストーリーを加えることで、季節や時間の移ろいとともに、園内各所で観光資源としての質の高い驚きと感動が体験できる魅力づけと、日本平公園のブランディング強化を強化する。

「風景美術館＝日本平」

～日本平の「驚きと感動」体験を支える日本一の展望公園を目指す～

②基本な取り組み方針

取り組み方針①

目の前は日本一の眺望

<絶景>

○「季節が織りなす風景」

富士山を主景とした四周の風景と、園内の木々や草花が織りなす季節の移り変わりが、日本平の壮大な風景を創出し、いつ来ても感動の広がるビューポイントやシークエンスを設定

○「光が醸し出す風景」

1日の時間の中で山容を明瞭に見せる朝の風景、駿河湾から立ち上るもやで霞む日中の風景、日が沈む夕照、市街地の夜景、夜空の星の輝き等の光の風景を堪能する機能を点在させるとともに、「日本平夜市」やライトアップイベントによって夜間のアクティビティを提供

取り組み方針②

固有の歴史資源と遭遇

<歴史>

○「歴史が紡ぐ風景」

ヤマトタケルノミコトの時代を経て、日本平は家康公の東照宮に続く、1,400年余りの悠久の歴史をもつ久能山において、古くから多くの人々の信仰を集めてきた、かけがえのない聖地としての文化的風景を形成

取り組み方針③

賑わいと自然体験を提供

<アクティビティ>

○「人が奏でる風景」

子どもたちの歓声、園内で催されるイベントや音楽の調べ、公園は人々が利用することで活気のある景観が生まれる。ウェルビーイングなライフスタイルに寄与する賑わいと交流の風景を創出

③計画フレーム

<主な利用層（ターゲット層）>

○市民（※アンケート調査より）

- ・直近の年間来園者は約20%（20万人相当）（※R5 既往調査データより）。静岡市の人口は、約67万人。
- ・「年に1～2回」が最も多く、「数年に1回」「2・3か月に1回」と続く。
- ・利用行動では、「散策」「風景観賞」が最も多く、「写真撮影」「ドライブ」「食事」と続く。

○県内日帰りレクリエーション

- ・移動時間1時間を目安とした対象地は、JR 静岡駅及び清水駅を起点として東が富士、西が島田、東名高速富士ICから牧之原IC間が想定される。
- ・直近の県内からの来園者数は、約15万人（※R5 既往調査データより）

○観光客・インバウンド

- ・重点ターゲット：【地域】首都圏、中京圏／【客層】「高齢者層」「ビジネス客層」「ファミリー層」「Z世代の女性層」／【旅行類型】自由訪問型、MICE（※静岡市観光基本計画）
- ・大型クルーズ船の乗客、ゴールデンルートの立ち寄り

<入込者数>

- ・令和5年度の年間来園者数の約100万人（令和6年3月2日交通量調査及び静岡市位置情報データ）をベースに、民間施設を含む現在の供用開始範囲、約55%を勘案して、本計画での来園者目標を200万人／年とする。

<駐車場規模>

- ・現状での駐車場の利用状況は、日本平ホテル駐車場を除く約770台に対して、回転率6回程度（滞在時間：1.5時間）の場合で年3日（GW）、回転率4回程度（滞在時間：2時間）で年21日程度の超過が想定される。
- ・現状の年間来園者100万人に対して、目標値の200万人とした場合、現状と同様の利用とした場合には、約2倍の駐車場規模が必要になるが、本計画では利用の集中を極力避け、平準化を図るものとしており、将来的な交通システムの導入や、土地の有効利用の観点からも、駐車場規模は抑えた計画とする（土地利用上の推定値：約900台）。

3)空間の骨格構成

地形的、景観的特徴を踏まえ、計画地が本来有していたポテンシャル（開放的の台地形）を再生し、併せて久能寺の参詣道であった歴史性をモチーフとして空間にストーリー性を持たせ、各々の特徴に合わせて施設を配置する。

①前庭 ～富士に広がる展望～

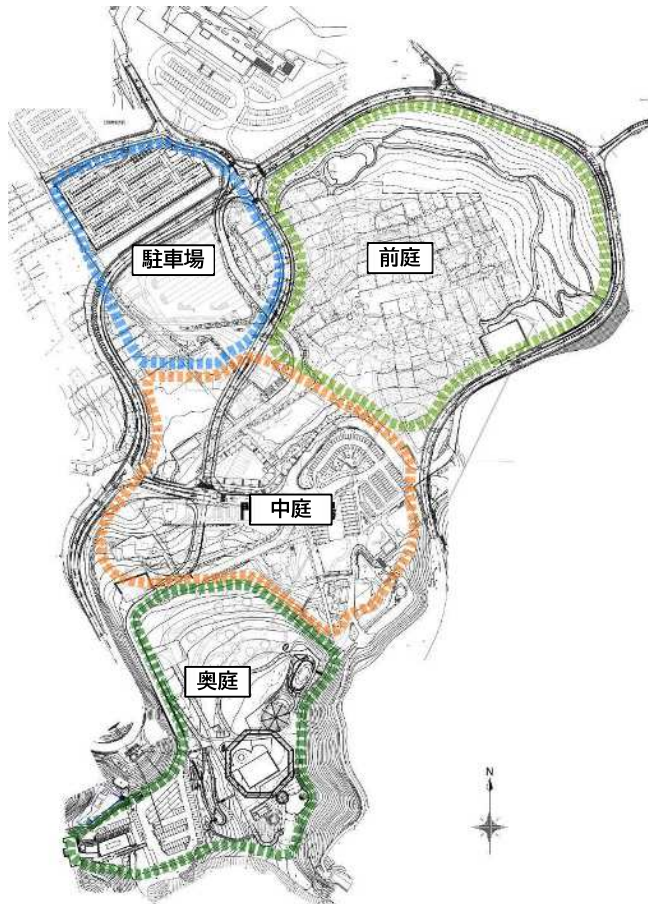
富士山方向に大きく開けた緩傾斜の地形を生かした開放的な芝生地や花修景地として活用。

②中庭 ～広場に集う、まちの賑わい～

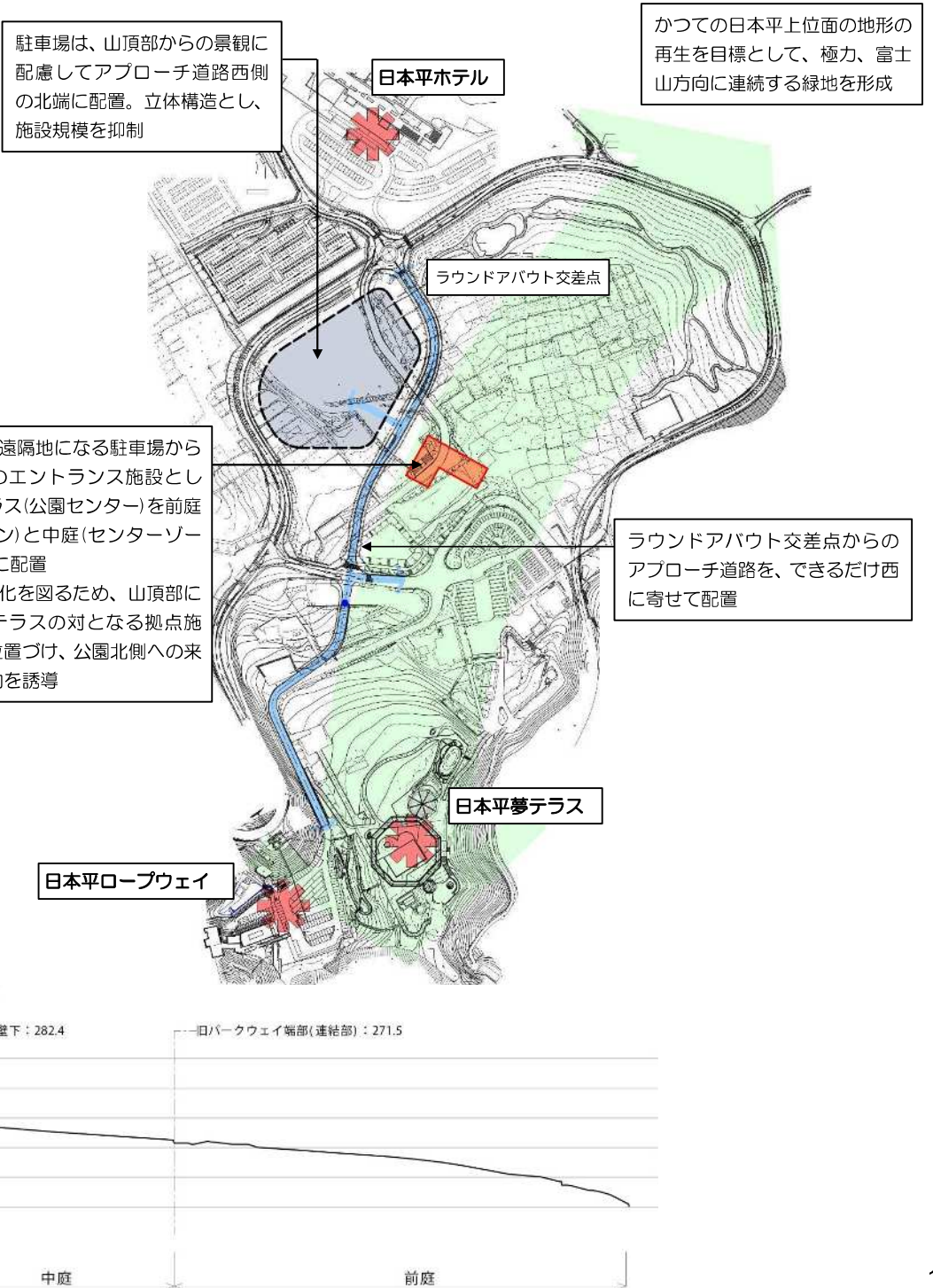
寺社の門前町を見立てとした来園者の集散の場、祭り・イベント空間や、茶屋などの飲食・物販施設を配置し、まちのにぎわいを創出。

③奥庭 ～歴史が伝える四周の眺望～

久能寺（現在は東照宮）への現代の参詣道であるロープウェイと、東照宮にあった五重塔をデザインモチーフとしたデジタル電波塔や、夢殿にも擬することのできる夢テラス、展望回廊をシンボルとした静謐の園地として活用。



- ・山頂部から遠隔地になる駐車場からの来園者のエントランス施設として霊峰テラス(公園センター)を前庭(平原ゾーン)と中庭(センターゾーン)の中間に配置
- ・利用の平準化を図るため、山頂部における夢テラスの対となる拠点施設として位置づけ、公園北側への来園者の移動を誘導



IV.導入機能・施設の設定

IV.導入機能・施設の設定

1)基本的な考え方

- ・市民利用ニーズや観光需要に柔軟に対応する機能向上を図りつつ、基本テーマ（日本平の「驚きと感動」体験を支える日本一の展望公園）の実現に向けて、その取り組みとしての「絶景」「歴史」「アクティビティ」の視点から、導入施設を想定
- ・一年を通じて市民に親しまれる公園としていくための、市民の非日常体験の場の形成と空間演出
- ・持続可能な公園運営に向け、利用者の滞在時間の延伸により費用対効果の改善を図るとともに、施設建設や運営管理への民間活力を誘導する環境を整備
- ・富士山が見えない来園時にも、その機会を十分に楽しめる施設やアクティビティを提供
- ・景観に代表される日本平の長所を活かしつつ、新たな観光トレンドに柔軟に対応した様々な体験・活動メニューの提供
- ・今後の増加が期待されるインバウンド需要への積極的な対応
- ・経済的・効率的駐車場計画に向けた、利用の平準化に資する施設構成の検討
- ・近年の温暖化に対する酷暑対策等、特に夏季の利用者の快適性に配慮

参考1. 名勝日本平保存管理計画（平成22年3月）

(1)名勝日本平の本質的価値について

名勝日本平の本質的価値は、山頂部から四囲の視野が開け、第一に富士山の麗容が印象に刻まれ、目を転ずれば近景に清水港、三保松原、清見湯、久能山、駿河湾、遠景には赤石山系を望む優れた眺望にある。

①本質的価値を構成する要素

景観／地形・地質（活しゅう曲をあらわす、なだらかな丘陵）／植物（サクラ、照葉樹）／久能山への参詣道／徳富蘇峰による石碑／展望を楽しむための公園施設（展望台）

②本質的価値を構成する要素と関連する要素

ロープウェイ／久能山東照宮／観光的側面からの諸整備（駐車場、撮影ポイント）／ホテルやレストラン、ショップ等の施設／みかん畑や茶畑

(2)保存管理の基本方針

①あるべき眺望の確保

日本平の東から北にかけて、白砂青松の名勝三保松原、清水港、清見湯とそのかなたの霊峰富士、北西に見本アルプス、南に史跡久能山を前にして、駿河湾と伊豆半島を遠望できることから、これらの展望地点を確保する。

②自然環境・地形の維持

日本平そのものの持つ、自然環境、稜線美を維持する。

③優れた風景を眺めうる特別な展望地点としての良好な環境整備

展望地点、ベンチ、ビジターセンター、駐車場などを整備し、名勝の価値をより豊かに実感できる公園を整備する。

参考2. WEB 利用者アンケート（静岡市/R6.8.16～R7.1.31）

「日本平山頂エリアについて、あなたが改善した方が良いと思う点を教えてください。」
「イベントを増やす」、「観光案内に関する情報をもっと積極的に発信する」、「⑧子供が遊べる施設を充実する」、「雨天時にも映像などで景色を楽しむことができるようにする」の順に、各々が13～14%前後の回答となっている。

2)導入機能・施設のイメージ

① 絶景

- ・日本一の展望公園、壮大な海と空と富士山を始めとする四周眺望機能の強調 → **霊峰テラス(公園センター)・展望テラス**
- ・日本夜景遺産や日本平の夜景を活かしたビュースポットの設置と夜間利用の拡大 → **霊峰テラス・展望テラス・芝生広場**
- ・6月から9月の、特に富士山が見えづらい時期の利用に対応したサービス機能の導入 → **霊峰テラス(映像)・フラワーガーデン**
- ・広い敷地を活かした大規模花壇や茶畑等の修景機能の向上 → **フラワーガーデン・体験茶畑**

② 歴史

- ・草薙神話や久能山等の古くからの歴史や徳川氏ゆかりの地である地域性を踏まえ、固有の歴史・文化資源の保全と活用を図るための環境づくり
- ・日本武尊(やまとたけるのみこと)をモチーフにしたキャラクターイメージを幼児の遊び場やアドベンチャー系遊具等に展開 → **幼児の遊び場・アドベンチャー系遊具**
- ・本公園の歴史性を演出する野草(ススキ等)や、季節イベントに呼応した花木(ユメマチザクラ、タキザクラ、カワズザクラ、ウメ等)の配植 → **フラワーガーデン・芝生広場・サクラテラス+タキザクラの庭・和風庭園(梅園)**

③ アクティビティ

- ・多様なアクティビティが提供できる魅力ある市民交流・観光交流の拠点づくり
- ・食の地産地消による極上の美食の供給、地域の風土や文化を体感するガストロノミーツーリズムの推進 → **レストラン・カフェ・甘味処・物販**
- ・公園を形成する自然や景観、花修景等による四季折々の素晴らしい眺望を満喫でき、ゆっくりとした時間を過ごせる憩いの空間づくり → **芝生広場・フラワーガーデン**
- ・自然環境の多様な機能を活かし、自然とのふれあい機能や遊び機能の導入 → **ファミリーパーク(幼児の遊び場・ピクニック園地)**
- ・富士山の眺望とバーベキューを楽しむ、開放的なテラス機能の導入 → **バーベキューテラス**
- ・居心地のよい空間が生み出す心豊かなライフスタイルを形成する交流・滞在機能の導入 → **グランピング**
- ・自然のロケーション地で、活動的な遊びやダイナミックな自然体験ができる空間づくり → **アドベンチャー系遊具・ジップライン**
- ・お茶のまち静岡、本場のお茶や人との交流を楽しむ体験型の活動の場の提供 → **体験茶畑**
- ・公園の中心部には、利用者の集合離散や地元のイベント開催、キッチンカーの配車等の様々に活用される広場を確保 → **センター広場(集散、イベント、キッチンカー等)**
- ・有度山内に立地する県立美術館や舞台芸術公園等と連携したアート展や文化祭等、文化的イベントの受け皿となる広場を確保 → **センター広場**
- ・敷地の広さと地形を活かした、複数の会場で催される野外音楽フェスティバル → **芝生広場・センター広場**
- ・市内観光交流施設の拠点機能の確保（市内観光施設との連携） → **霊峰テラス(観光案内)**
- ・近年飛躍的に増加しているクルーズ客への受入態勢の強化と周遊促進 → **霊峰テラス(観光案内、展示、飲食)・体験茶畑**
- ・安全で快適な園内移動手段の確保（自動電動カートなどの交通システムの導入）

V.基本計画案

1. 主な体験活動メニュー導入(案)

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計		
入込者数(R5)		R5(2023)年度	133,783	189,980	171,225	108,142	94,390	111,778	98,087	160,467	184,538	148,533	124,374	105,640	1,630,937	
夢テラス入館者数		R5(2023)年度	55,241	45,167	58,229	30,848	38,666	39,206	41,413	50,606	54,186	29,341	46,402	36,042	525,347	
日本平ロープウェイ輸送人員		R6(2024)年度	66,818	64,641	64,332	0	36,391	46,838	51,038	61,105	73,025	46,552	66,056	51,287	628,083	
		春				夏				秋				冬		
市民（家族連れ）		①幼児遊具コーナー（20分）				①アドベンチャー系遊具（60分）				①雲峰テラス（20分）ハロウィン				①日本平夢テラス（20分）富士山等眺望		
		②大芝生広場（20分）眺望、散策				②センタープラザ（40分）ガンダム特別展、キッチンカー				②中央芝生広場（30分）ミニコンサート				②雲峰テラス（30分）プラモデル制作体験、クラフト教室		
		③BBQコーナー（60分）				③センタープラザ・中央芝生広場（40分）日本平ビエンナーレ				③センタープラザ（60分）日本平夜市・出店				③雲峰テラス（60分）レストラン・カフェ、		
		④フラワーガーデン（30分）鑑賞、散策												④展望テラス・デッキ（20分）富士山等眺望		
		⑤雲峰テラス（30分）眺望、休息														
市民（カップル）		①大芝生広場（20分）眺望、散策				①くさっぱら（90分）音楽フェスティバルイベント				①アドベンチャー系遊具（60分）				①吟望台・展望の丘（30分）富士山眺望		
		②フラワーガーデン（30分）鑑賞、散策				②センタープラザ（60分）夜市・出店				②日本平夢テラス（20分）富士山眺望				②日本平夢テラス（20分）富士山眺望		
		③アドベンチャー系遊具（60分）								③ジップライン（10分）				③雲峰テラス（30分）レストラン・カフェ、富士山眺望		
		④雲峰テラス（30分）レストラン・カフェ								④BBQコーナー（40分）				④展望テラス・デッキ（30分）富士山眺望		
		⑤日本平夢テラス（20分）富士山眺望								⑤大芝生広場（20分）眺望、散策						
市民（高齢者夫婦）		①和風庭園＋茶屋（30分）				①日本平ロープウェイ（20分）、久能山東照宮（60分）				①こもれび遊歩道（20分）鑑賞、散策				①梅園（60分）梅まつり		
		②サクラテラス、タキザクラの庭（30分）				②日本平ロープウェイ駅（40分）レストラン				②大芝生広場（30分）休息、散策				②吟望台・展望の丘（30分）富士山眺望		
		③フラワーガーデン（30分）鑑賞、散策				③日本平夢テラス（30分）休息、眺望				③フラワーガーデン（30分）鑑賞、散策				③日本平夢テラス（30分）富士山眺望		
		④日本平ホテル（60分）レストラン・カフェ				④センタープラザ・中央芝生広場（40分）日本平ビエンナーレ				④雲峰テラス（40分）レストラン・カフェ				④雲峰テラス（40分）レストラン・カフェ		
		⑤雲峰テラス（30分）映像・展示								⑤センタープラザ（30分）菊花展						
観光客（家族連れ）		①大芝生広場（20分）眺望、散策				①アドベンチャー系遊具（60分）				①中央芝生広場（30分）ミニコンサート				①日本平ロープウェイ（20分）		
		②フラワーガーデン（30分）鑑賞、散策				②センタープラザ（30分）ガンダム特別展				②センタープラザ（60分）日本平夜市・出店				②久能山東照宮（40分）		
		③BBQコーナー（60分）				③雲峰テラス（30分）レストラン・カフェ				③大芝生広場（30分）清水港の夜景				③日本平ホテル（60分）レストラン		
		④雲峰テラス（30分）映像・クラフト体験				④日本平夢テラス（30分）休息、眺望				④くさっぱら（40分）秋の音楽フェスティバルイベント				④日本平夢テラス（30分）富士山眺望		
		⑤体験茶畑（40分）茶摘み、手もみ茶体験				⑤体験茶畑（40分）茶摘み、手もみ茶体験										
観光客（カップル）		①フラワーガーデン（30分）春のフラワーフェスティバル				①ジップライン（10分）				①日本平ロープウェイ（20分）、久能山東照宮（60分）				①アドベンチャー系遊具（60分）		
		②大芝生広場（20分）眺望、散策				②センタープラザ（60分）日本平夜市・出店				②久能山東照宮（60分）				②日本平夢テラス（30分）		
		③日本平ホテル（60分）レストラン・カフェ				③中央芝生広場（30分）ナイトコンサート				③日本平夢テラス（30分）休息、眺望				③富士山眺望ジップライン（10分）		
		④日本平夢テラス（20分）富士山眺望				④グランピング（宿泊）				④雲峰テラス（30分）レストラン・カフェ				④日本平ホテル（60分）レストラン・カフェ		
		⑤雲峰テラス（30分）映像・展示								⑤大芝生広場（20分）眺望、散策				⑤雲峰テラス（30分）富士山眺望		
観光客（グループ、団体）		①フラワーガーデン（30分）春のフラワーフェスティバル				①雲峰テラス（40分）映像・展示				①日本平ロープウェイ（20分）、久能山東照宮（60分）				①吟望台・展望の丘（30分）富士山眺望		
		②体験茶畑（40分）茶摘み、手もみ茶体験				②大芝生広場（20分）眺望、散策				②アドベンチャー系遊具（60分）				②日本平夢テラス（20分）富士山眺望		
		③雲峰テラス（40分）静岡市伝統的な食文化体験				③日本平ホテル（60分）レストラン・カフェ				③雲峰テラス（40分）レストラン・カフェ				③雲峰テラス（30分）レストラン・カフェ、富士山眺望		
		④日本平ロープウェイ（20分）、久能山東照宮（60分）				④日本平夢テラス（20分）休息、眺望				④雲峰テラス（30分）プラモデル制作体験、クラフト教室				④展望テラス・デッキ（30分）富士山眺望		
		⑤日本平夢テラス（20分）富士山眺望				⑤センタープラザ・中央芝生広場（40分）日本平ビエンナーレ				⑤大芝生広場（20分）散策						
観光客（インバウンド）		①サクラテラス、タキザクラの庭（30分）				①雲峰テラス（30分）静岡の日本酒ティスティング				①日本平ロープウェイ（20分）、久能山東照宮（60分）				①吟望台・展望の丘（30分）富士山眺望		
		②体験茶畑（40分）茶摘み、手もみ茶体験				②センタープラザ（30分）ガンダム特別展				②日本平夢テラス（20分）富士山眺望				②日本平夢テラス（20分）富士山眺望		
		③日本平ホテル（60分）レストラン・カフェ				③センタープラザ（60分）日本平夜市・出店				③雲峰テラス（40分）レストラン・カフェ				③雲峰テラス（30分）レストラン・カフェ、富士山眺望		
		④日本平ロープウェイ（20分）、久能山東照宮（60分）				④大芝生広場（30分）清水港の夜景				④センタープラザ（30分）徳川家武士衣装体験				④展望テラス・デッキ（30分）富士山眺望		
		⑤日本平夢テラス（20分）富士山眺望				⑤グランピング（宿泊）				⑤大芝生広場（30分）休息、眺望						
イベント(既設)		日本平夜市は、毎月第4土曜日に11月～3月は15:00-20:00、4月～10月は16:00-21:00に開催されている 令和6(2024)年の日本平まつりの開催日は、7月24日(水)に花火大会、2月17日(土)・18日(日)に日本平梅まつりが行われた														
イベント・アクティブメニュー案		フラワーフェスティバル				サイクルロードレース キッズサマーキャンプ フライデーナイトコンサート(クラシック、ジャズ等) サマーロックフェス 茶摘み体験(一番茶)				ハロウィン(10/31) 文化祭(県美術館・舞台芸術公園共催) お茶の日(11/1) 茶摘み体験(秋冬番茶)				クリスマス(12/24,25) 星空観察会 凧揚げ大会 ランタンリリース 体験熱気球		
						自然(昆虫)観察 ダイキャンプ・バーベキュー										
花修景(計画一部既設)		ウメ	サクラ	チューリップ	ラベンダー アジサイ ヤグルマギク				ダリア コスモス コキア(紅葉) 百日草(ジニア)				ウメ			
			カワズザクラ	ネモフィラ ツツジ・ミツバツツジ	ヒマワリ アナベル											